

音楽文化の振興に貢献しています



音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指して、また、世界の音楽文化の振興に貢献するため、カワイグループでは、さまざまな音楽活動や文化活動を行っています。人々の心に感動の輪を広げたい。カワイの願いは着実に実を結んでいます。

次世代を担うピアニストを育成しています

Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールの開催

Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールは、2017年に当社創立90周年を記念して、次世代を担うピアニストを世界各地から発掘・育成するとともに、国際交流の推進や世界の音楽文化の振興を目指して創設されました。

近年多くの著名なコンクールで公式ピアノとして活躍する『Shigeru Kawai』グランドピアノの名を冠した当コンクールは、2019年に第3回を開催し、18の国と地域より234名のコンテストがエントリーし、イリヤ・シュムクレルさん（ロシア）が優勝しました。

また、海外ではスペインにてShigeru Kawai ピアノコンクール in マドリードが開催されました。このコンクールは国内で開催された第3回Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールの予選も兼ねており、このコンクールで優勝したハリソン・ハーマンさん（オーストラリア）は本選に出場し2位入賞となりました。



入賞者・審査委員・伴奏者・委員会委員長



イリヤ・シュムクレルさん（手前）

国際ピアノコンクールへの参加

ショパン国際ピアノコンクールや浜松国際ピアノコンクールをはじめ、世界各地では優れた若いピアニストの発掘や育成、発表の機会の提供などといった様々な目的を持ったコンクールが開催されています。

カワイはこれらのコンクールで公式ピアノとして採用していただくことで、音楽文化の振興に貢献しています。

2020年1月から2月にアメリカ サンアントニオで開催されたグルビッツ国際ピアノコンクールではSK-EXを弾いたジャレ・リーさん（中国）が見事優勝を果たしました。



ジャレ・リーさん

『Shigeru Kawai』グランドピアノ誕生20周年・竜洋工場竣工40周年

世界各地のコンクールやコンサートなどで活躍している『Shigeru Kawai』グランドピアノは2019年に誕生20周年を迎えました。これを記念してカワイではヒストリー動画を公開し、誕生20周年記念レセプションなどを開催しました。

また、『Shigeru Kawai』グランドピアノを製造している竜洋工場は2020年に竣工40周年を迎えます。今後も世界一のピアノづくりを目指してまいります。

ヒストリー動画：Shigeru Kawai 20年のあゆみ <https://www.youtube.com/watch?v=mRxW4aFen1M>

竜洋工場40周年記念動画：

Make one sound -カワイ竜洋工場のピアノ職人- <https://www.youtube.com/watch?v=q9jrptbWDC8>



音楽文化の普及に取り組んでいます

カワイ音楽振興会

カワイ音楽振興会は日本の音楽文化の向上をめざして、1963年に設立されました。カワイコンサートの開催をはじめ、海外著名演奏家や音楽教育家の招聘事業、国内一流音楽家のリサイタル・公開講座など多彩な催しを企画し、実施をしています。

また、音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指し、さまざまな音楽活動や文化活動の支援を行っています。これからも、“Music for All”の理念のもと、様々な活動を通じてすべての人々に良質な音楽を提供してまいります。詳細は多彩なコンサートや公開講座情報を掲載しているカワイ音楽振興会ウェブサイトをご参照ください。

<http://kawai-kmf.com/>

カワイコンサート

1971年に日本中の人々に良い音楽を、というポリシーのもとスタートしたカワイコンサートは発足以来これまでに2300回近くの公演を行ってきました。国際的なピアニストから新進気鋭の若手演奏家まで多彩な演奏家を招いています。カワイコンサートには音楽教室の生徒さんや講師の方々にも来場いただき、感性の向上に寄与しています。また、全国各地で開催することにより地域の音楽文化の更なる発展にも貢献しています。

カワイコンサートの開催情報につきましては、カワイ音楽振興会ウェブサイトをご参照ください。



アンドレイ・シチコさんのコンサート



小川典子さんのコンサート

ロシアン・ピアノスクール in 東京 2019 公開レッスンの開催

ロシアン・ピアノスクール in 東京は2003年より毎年開催されています。本スクールは国際コンクール入賞者を100人以上も輩出しているモスクワ音楽院の故セルゲイ・ドレンスキー教授のクラスから講師を迎えてのレッスンです。これまで数多くの受講生が、受講後国内外のコンクールで入賞されています。

レッスンだけでなく、講師の模範演奏、受講生選抜演奏会が行われ、受講生・聴講生の育成だけでなく、来場されるお客様にも良質な音楽をお届けしています。



アンドレイ・ピサレフ教授による公開レッスン



受講生選抜演奏会

各種音楽団体を支援し 共に音楽文化の普及に取り組んでいます



日本ショパン協会への支援

日本ショパン協会は、1960年8月、フレデリック・ショパン生誕150年を記念してポーランドのショパン協会との交流のもとに設立されました。初代会長は高折宮次氏で、高折氏と交流のあった河合滋社長(当時)が名誉会長となり、事務局を河合楽器製作所内に設置して、その活動をスタートしました。

以後、年に数回の演奏会や公開講座の例会、1980年以降5年毎のショパン国際ピアノコンクールへの参加者オーディション、2005年以降は5年毎に日本ショパンピアノコンクール、2010年以降は毎年ショパン・フェスティバル in 表参道などを開催しています。また、1974年以降、年間最も優れたショパン作品を演奏したピアニストに対し「日本ショパン協会賞」を贈呈するなど、ショパンとその芸術の普及のために活発な活動を行っています。

<http://chopin-society-japan.com/>



クロイツァー記念会への支援

クロイツァー記念会は、ドイツと日本で活躍したレオニード・クロイツァー教授の遺徳をしのび門下生および関係者により1962年3月、高折宮次氏を会長に設立されました。日本のピアノ音楽界発展のために尽くすという設立主旨に沿って諸事業を行っています。

1971年より、クロイツァー教授の日本音楽界に対する功績を記念して「クロイツァー賞」を制定し、教授が生前教鞭をとった東京芸術大学、国立音楽大学、及びゆかりの深かった武蔵野音楽大学の各大学院ピアノ専攻修了生の中から、特に優れた成績をおさめた人に賞を贈呈しています。

またこの受賞者を対象としたクロイツァー賞受賞者演奏会を1976年より毎年開催するほか、ショパン=クロイツァー校訂版楽譜(音楽之友社刊)の出版に協力しています。(現在は、楽譜配信サイト『@ELISE(アット・エリーゼ)』よりダウンロード販売されています。)

<http://kawai-kmf.com/kreutzer/>



クロイツァー賞
受賞者演奏会

日本・ロシア音楽家協会への支援

1984年、日ソ音楽家協会の名で、当時のソ連作曲家同盟議長のティホン・フレンニコフ氏と初代運営委員長芥川也寸志氏の親交から、両国の音楽作品の交換演奏を中心とする音楽文化交流を目的に発足しました。その後、ソ連の崩壊により日本・ロシア音楽家協会と名称を変更。新生ロシアと旧ソ連邦諸国との新たな交流活動に入りました。

ロシアとの文化交流コンサートを開催するほか、声楽・器楽のコンサートなどを定期開催しています。

<http://japan-russia-sfm.net/>



ロシア民謡
フェスティバル

日本シマノフスキ協会への支援

日本シマノフスキ協会は、1981年、カロル・シマノフスキ生誕100年を記念して設立されました。

シマノフスキがポーランドを代表する作曲家としてショパンと並び称されるには、いくつかの理由がありますが、最大の理由は、彼の後期の作品がポーランドの山岳地帯の古い形の民謡をもとに傑作を生みだしたことによるものです。ポーランド人の民族性、土俗性が表現された深い味わいがあるシマノフスキ作品を日本国内に広める活動を行っています。オーディション形式のフレッシュ・コンサートや、例会としてコンサートや公開講座等を開催しています。

<http://kawai-kmf.com/szymanowski/>



日本シマノフスキ協会

海外での音楽文化の普及に取り組んでいます

中国での音楽文化の普及

中国においては宋慶齡基金会と連携し、音楽教室の展開を進めることで、音楽文化の普及に貢献しています。中国（上海）国際楽器展覧会では、製品展示だけでなく、調律や音楽教育のセミナーを開催しています。また、調律師育成の一環として、教育支援を行っている北京・勁松（ジンソン）職業高校の生徒を日本に招き、調律技術の継承を図っています。



中国北京の音楽教室



中国（上海）国際楽器展覧会



調律技術指導の開講式



調律技術指導を受ける勁松職業高校の生徒

新興国での音楽文化の普及

現地教育者の育成を推進するとともに、各国での音楽文化並びに音楽教育の普及に貢献しています。



ベトナム



タイ



マレーシア



インドネシア

